



会津医療センター ニュースレター

発行日：平成27年12月15日

〒969-3492

福島県会津若松市河東町谷沢
字前田21番地2

TEL：0242-75-2100(代表)

FAX：0242-75-2150(総務課)

E-mail：a-keiei@fmu.ac.jp

企画発行：事務局経営企画室

コンテンツ一覧

- 新任のご挨拶…………… 1
- 当センター診療科のご紹介…………… 2・3
- インフルエンザに備えましょう！…………… 4
- 栄養管理部より…………… 5
- 看護部職場体験学習…………… 5
- 会津医療センターからのお知らせ…………… 6

新任のご挨拶

麻酔科学講座 教授 村山 隆紀



2015年4月より麻酔科学講座教授として着任いたしました。生まれは三重県で、京都大学医学部を卒業し、京都大学医学部附属病院等関西にて6年余り、その後埼玉県にある自治医科大学附属さいたま医療センターで25年余り勤務した後、当施設に参りました。この間1年ほど北欧に留学していた関係で「極寒」の地での生活経験はありますが、「豪雪」地は初めてですので、期待と不安を抱いてこの地で生活を始めております。

一般に麻酔科医の業務は裏方仕事で目立たないと思っておられる方が多いのですが、その活動範囲は広く、救急医療、災害医療、集中治療、疼痛治療（ペインクリニック）、緩和医療、医療安全管理など幅広い表分野で活躍している先生方が多数おられます。私も麻酔科専門医・指導医の資格を取得すると同時に、救急認定医、集中治療認定医などの資格を取得し、麻酔科診療と並行して救急医療・集中治療に従事しておりました。

その後、活動の場を疼痛治療・緩和医療外来に移し、癌性・非癌性を問わず慢性的な痛みを苦しむ方々の疼痛治療に従事してきました。

また年間7千件近い手術件数を受け入れる大規模先進医療施設の麻酔科および手術室運営責任者として、安全で効率的な麻酔診療並びに手術室運営を行うことに尽力して参りました。

全国的な麻酔科医師不足問題は今なお解消されておらず、特に北海道・東北・四国・九州地域ではその傾向が顕著で、当施設もその例に漏れず麻酔科専門医資格を有する医師は私を含め2名しかおりません。その2名で年間約千件の全身麻酔法による麻酔管理を行っております。少数ながらも、常に良質な麻酔管理を心掛け、速やかな覚醒、安定して合併症のない麻酔管理が得られるよう日夜取り組んでおります。今後は、ともに活動するスタッフを増やし、ここ会津の地での医療により一層貢献できるよう頑張っていきたいと考えております。



当センター診療科のご紹介

— vol.3 耳鼻咽喉科 —

耳鼻咽喉科学講座 教授 小川 洋

県内唯一の埋め込み型骨導補聴器手術

聴力低下をきたす病態と治療方針

年齢が高くなると聞こえが悪くなることは「老人性難聴」としてよく知られています。年齢を重ねていくことで聴力が低下していくと「音は聞こえるけれど言葉が聞き取りにくい」現象が出てきます。

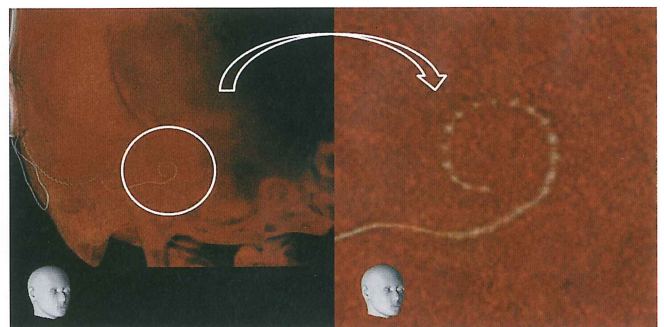
このような場合、一般的には「補聴器」を使って対処しますが、実は聴力の程度に合わせて補聴器を使いこなすことは容易でない場合があります。他人のメガネを使った時によく見えないように、他人の補聴器を使ってもよく聞こえません。どれくらいの音が聞こえるか、といった検査（純音聴力検査）や、言葉がどのくらい聞き取れるかの検査（語音聴力検査）などで聴力の状態を判断し、聞こえの具合に応じて補聴器を調整することがとても重要になります。この補聴器の調整はある程度の時間をかけて、しっかりと行う必要があります。

一方で、中耳炎の繰り返しや、側頭部の打撲などで聴力が低下した場合、手術を行うことで聴力を改善させることが可能なことがあります。当科では聴力改善手術を積極的に行っています。聴力低下を招く病態として、鼓膜に穿孔（穴が開いている）ができてうまく音が伝わらない状態、音を伝える耳小骨が溶けて消失した状態、硬くなって動きが悪くなっている状態、蝸牛内の神経が壊れて音を全く伝えることができない状態などがあります。

どのような原因で聴力の低下が起こっているのか、その原因を調べるのがとても大切で、その検査結果から聴力改善のために最も良い方法を探し出して対応することを第一に考えています。



骨導型埋め込み補聴器のインプラント埋め込み部分と装着したサウンドプロセッサ



人工内耳埋め込み術施行後のCT所見。
人工内耳の電極は蝸牛内に挿入されます。

CT、MRI検査などで評価

顕微鏡や内視鏡を使って外耳道、鼓膜の状態をよく観察します。純音聴力検査、鼓膜の動きを確認する検査（チンパノメトリー）などを行います。さらにCT検査を行います。われわれの施設には低被曝線量で微小な骨の変化を判断できるCT装置が整備されており、詳細な耳小骨の評価を行うことができます。必要に応じてMRI検査を行い、蝸牛や前庭、聴神経の評価を行います。

(写真：低被曝線量で微細な骨病変をとらえることのできるCT装置→)



モリタ製作所製AccuitomoF17

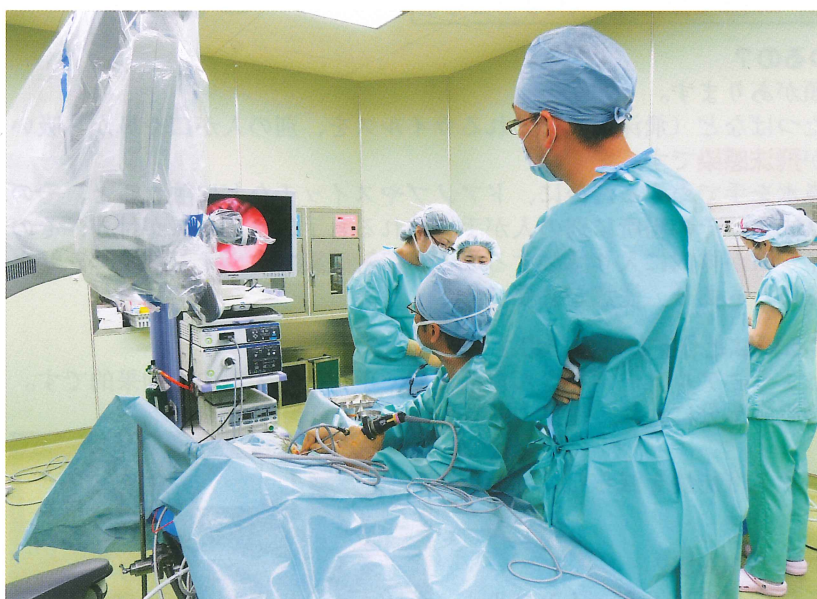
多様な手術法で聴力を改善

鼓膜の穿孔だけが聴力低下の原因になっている場合は、耳の中から鼓膜穿孔閉鎖を行います（経外耳道手術）。内視鏡を使うことで、従来は耳の後ろを切って行っていた操作が耳の中からのみで可能となりました。すべての手術操作が内視鏡下に行えるわけではありませんが、積極的に内視鏡下での手術を取り入れています。鼓膜穿孔の大きさ、存在部位、患者さんの年齢などから全身麻酔で行うか、局所麻酔で行うか選択しています。現在、鼓膜穿孔閉鎖をする鼓膜形成術は、局所麻酔での手術の場合は、1泊2日、全身麻酔の場合は、2泊3日の日程で行っています。

そのほか、耳小骨が硬くなっている場合は可動性を改善させる手術を行います。耳小骨は3つの骨から形成されていますが、アブミ骨が固着して動かない場合にはアブミ骨手術を行っています。耳小骨が溶けて十分に音が伝えられない場合は、患者さん自身の軟骨や骨を使って代用耳小骨として聞こえの伝わりを改善させています。

このような手術方法でも聴力が良くならない場合は、埋め込み型骨導補聴器の手術を行うことがあります。この手術は保険適応となり今のところ、福島県内で唯一われわれの施設が行っています。

会津医療センター開院以来、2年間で5人の患者さんの手術を行い、高い満足度を得ています。



内視鏡下に耳内手術を行っているところ／内視鏡下手術から顕微鏡下手術、顕微鏡下手術から内視鏡下手術にスムーズに移行することができます。

さらに、全く補聴器の効果がみられない両側高度難聴の患者さんには、人工内耳埋め込み術を行っています。鼓膜形成以外の手術は原則的に全身麻酔で行っており、術後7日程度の入院が必要となっています。

手術で聴力を改善することができるのか、埋め込み型骨導補聴器手術を行うことができるのか、適切な検査を行い、病態を把握することで患者さん一人ひとりの「聴力」と向き合いながら適切な対応ができるように心掛けています。

インフルエンザに備えましょう!

インフルエンザ予防接種について

当院においては、11月2日よりインフルエンザの予防接種を実施しております。予防接種をご希望される方は専用の受付を設置しておりますので、そちらをご利用下さい。

昨年までのインフルエンザワクチンは、インフルエンザA(H1N1)亜型とA(H3N2)亜型、B型(山形系統)の3種類が含まれたワクチンでしたが、近年のインフルエンザB型の流行は2系統(山形系統とビクトリア系統)のウイルスが混合していることから、今年よりこれまでのワクチンに、B型(ビクトリア系統)を加えた4種類が含まれたワクチンとなりました。そのため、昨年度よりワクチン接種にかかる料金も少し上がっております。

ワクチンを接種することでインフルエンザの発症を予防したり、たとえ発症しても症状が軽くすみます。ワクチンの効果が現れるのは、接種2週間後であり、会津地域でインフルエンザが流行する時期は12月～4月です。そのため、なるべく今年中(12月28日)までに予防接種をお受けすることをお勧めします。



受付の様子

平成27年度第7回健康教室

「みんなで予防!! インフルエンザ」を開催しました。

インフルエンザ 一問一答

Q1 風邪とインフルエンザの違いはなんですか?

	風 邪	インフルエンザ
症 状	鼻水やのどの痛みなどの局所症状	38℃以上の発熱やせき、のどの痛み、全身の倦怠感や関節の痛みなどの全身症状
流行の時期	一年を通してひくことがあります	1月～2月に流行のピーク ただし、4月、5月まで散発的に流行することも



Q2 インフルエンザはどのようにしてうつるの?

感染経路には**飛沫感染**と**接触感染**の2種類があります。

感染した人のせきなどによって飛び散ったつばなど(飛沫)に含まれるウイルスを、別の人が口や鼻から吸い込み、ウイルスが体内に入り感染することが**飛沫感染**です。

感染した人がせきを手で押さえた後や、鼻水を手でぬぐった後に、ドアノブやスイッチなどに触れると、その触れた場所にウイルスが付着することがあります。その場所に別の人が手で触れると手にウイルスが付き、その手で鼻や口に触れると粘膜などを通してウイルスが体内に入り感染することが**接触感染**です。インフルエンザウイルスは環境中に2～8時間程度生きていることもあり、注意が必要です。

Q3 インフルエンザがうつらないようにするにはどうすればいいの?

- 帰ってきた後など、こまめに手を洗いましょう。アルコールを含んだ消毒液で手を消毒するのも効果的です。
- 健康管理にも気を配りましょう。栄養と睡眠を十分にとり、抵抗力を高めておくことも必要です。
- 予防接種を受けましょう。予防接種は発症する可能性を減らし、もし発症しても重症化するのを防ぎます。

Q4 インフルエンザかなと思ったらどうすればいいの?

- 早めにお近くの医療機関(内科・小児科)を受診しましょう。インフルエンザの治療薬は48時間以内に服用したほうがよいと言われています。
- せきエチケットとして、せきが出るときはマスクをつけましょう。「他のひとにうつさない」ことも大切です。



健康教室の様子

特別メニュー 摂食回復支援食「あいと®」

栄養管理部より 特別メニューのご案内

嚙む力が低下した患者様とご家族のご要望にお応えし、10月より昼食と夕食で特別メニューを開始しました。硬くて食べられない…と諦めることなく、お召し上がりいただけます。

- ◇対象 ● 嚙む力が低下した、刻み食・ミキサー食等をお召し上がりの患者様
※嚥下障害対応の食事ではありませんので、ご注意ください。
- ◇特徴 ● 肉や魚・野菜が、舌でくずれる程に軟らかく調理されたお料理です。
● 見た目は形を保つため、美味しさを目でも味わっていただけます。
● 味覚の低下した方でも味を感じられるよう、しっかりとした味付けです。
(株)イーエヌ大塚「摂食回復支援食 あいと®」を使用しています。

●●● 特別メニューの例 ●●●



豚の角煮



さばの味噌煮



すき焼き

引用) (株)イーエヌ大塚製薬HPより

- ◇料金 ● 材料費が高額なため追加料金をご負担いただきます。1食600円(消費税込)
- ◇申込 ● ご希望の方は管理栄養士または看護師までお知らせ下さい。
※ご自宅用等に購入希望の方には、購入方法をご案内します。管理栄養士までお問い合わせ下さい。

看護部職場体験学習

今、日本は世界で例を見ない「超高齢社会」であり、国では「2025年問題」を掲げ、看護職員の確保は急務の課題となっています。

会津医療センターでは、これからの社会を担う地元の中中学生や高校生を対象に、施設見学や簡単な看護体験を通して看護の心を理解していただくとともに、看護職を志す動機づけの一助となることを目的に、毎年、7月～9月にかけて実施しております。

体験では、臨床現場で働く看護師と一緒に行動し、血圧測定やシーツ交換、移送、コミュニケーションなどの看護技術を経験することができます。看護体験をとおして、看護師以外の医師や薬剤師、検査技師、理学療法士などと接する機会もあります。



看護部職場体験

さらに、参加者にとっては近隣の医療施設を知り「看護」について考える良い機会になり、会津医療センターにとっても地域とのコミュニケーションや情報公開の場となっています。

yahooで検索すると、看護師という職業は『13歳のハローワーク：人気職業ランキング』では第11位、『職業の夢ランキング【高校生】』では第3位、『お仕事やりがい度ランキングTOP10 (60種・1033人アンケート)』では第1位です。高度な先進医療に看護実践で携わることができ、また、子育てしながらキャリアアップできるやりがいのある職業だと自信を持って言えます。

看護師になりたい！医療の現場を見てみたい！そんな中学生・高校生の皆さん、お待ちしております！

会津医療センターからのお知らせ

初期研修医・鍼灸研修生・看護師が心電図検定に合格しました！

2015年8月23日(日)に(社)日本不整脈心電学会の第1回心電図検定が実施されました。当センターからは初期研修医の鈴木美香先生、遠藤千麻先生、山田匠希先生、池田翔平先生、宇仁田明奈鍼灸研修生、仁科楓鍼灸研修生、尾崎順子主任看護技師、小椋友希看護技師の計8名が受験しました。先日、受験結果が発表され、受験者全員合格となりました！さらに合格者の中でも、特に優秀な成績を取めたとして鈴木美香先生が学会より表彰されました。今後も、1・2級の合格、さらにはマイスター(1級合格者のなかでも特に優秀とされた者)の資格を取得出来るよう、日々努力していきます。

※心電図とは

心臓の電気的な活動の様子をグラフ状に表したもの。心臓の病気、とりわけ不整脈や狭心症の診断と治療に欠かせない。熟練した医師でも読み間違えることがあり、正確な判読には深い洞察力と多くの経験、訓練が求められる。



鍼灸研修生の仁科さん(左)と宇仁田さん(右) 医師に負けずと様々な職種の方が活躍しています！

絵画を寄贈していただきました

福島県立高校美術科前教諭の吉田和春氏より絵画「春の磐梯山」を寄贈していただきました。

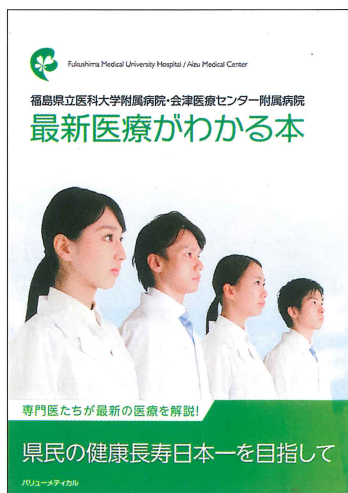
吉田氏は「福島県総合美術展覧会招待」、「東京セントラル美術館日本画大賞展入賞」、「春季、秋季創画展入選」など多数の画歴をお持ちになっています。寄贈していただきありがとうございます。絵画は患者支援センター東側カウンター上に掲額されています。



中央が吉田氏

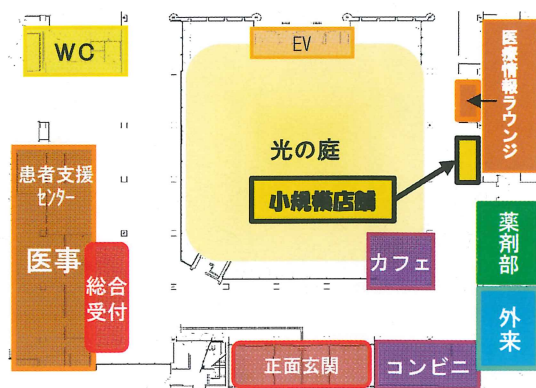
最新医療が分かる本(MOOK本)が発売されました！

本誌は、福島県立医科大学附属病院と会津医療センター附属病院の各診療科の最新医療を1冊にまとめたものです。約160ページに渡って、福島県立医大及び当センターの各診療科の医師から最新医療に関する解説・紹介があります。医療に携わっている方はもとより、医療に関心のある皆様も、幅広い診療分野の最新情報を知ることが出来ます。各書店にてお買い求めいただけるほか、当センター内のローソンにおいても販売予定です。ぜひお買い求めください。



福島県庁消費組合の売店を設置しました

当センター1階東邦銀行ATM隣りにて、福島県庁消費組合が小規模店舗を10時から15時まで営業しています。野菜や果物、婦人服やバッグなどを販売しておりますので、診療時間や会計待ち時間等にぜひご利用下さい。(販売内容は日替わりで変更となります)



正面玄関から入っていただいて、右手奥でございます。